

環境教育プログラム

プロジェクト・ワイルド

本編・水辺編
資格認定

エディケーター養成講習会



体験学習法により「考える力」を引き出す環境教育

詳しくは裏面へ



日時：平成29年11月5日（日）9：30～17：00

場所：函館市青少年研修センター〈ふるる函館〉

講師：「Project WILD」シニアファシリテーター 二杉 寿志 氏

対象：18歳以上。

自然体験型環境教育プログラムに興味・関心のある方、環境教育を勉強したい学生や教員の方、企業やNPOなどで環境啓発活動に参加している方など

※資格取得は18歳未満でも可能ですが、資格が正式に有効となるのは18歳以上からです。

定員：30名（先着順）

費用：①資格認定受講者 10,000円（テキスト代、資格認定に関わる諸経費など）
※登録後、更新料などの費用はかかりません。

②講座体験希望者 3,000円（テキストなし）

持ち物：動きやすい服装、筆記用具、上靴、昼食

申込方法：10月11日（水）8：45から電話またはメールにて受付（締切 10/24）

TEL 0138-23-5961 Eメール info@fururu.or.jp

主催：ふるる函館（函館市青少年研修センター）

後援：北海道教育庁渡島教育局

○プロジェクト・ワイルドとは…

「自然を大切に」と理解するだけでなく、「自然や環境のために行動できる人」を育成することに取り組んだ、野生生物を題材とした環境教育プログラムです。1980年代、子どもたちを指導する教育者向けにアメリカで開発され、現在は世界各国で活用されており、1999年に日本でも導入されました。

○この講座では、プロジェクト・ワイルドの指導者養成カリキュラムによって、自然環境保全のための環境教育プログラムを企画・実施できる指導者を養成します。

○環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」は、環境省、国土交通省から環境教育推進法における人材認定等事業に登録されています。

○受講後は、一般財団法人 公園財団から資格認定され、エデュケーターとして活動できます。

○プログラムの特徴

- ・多くの実績を経て、科学的な裏づけがなされた内容
- ・自身が主体となる体験型学習であるため、受動的でなく能動的に、誰もが楽しく問題解決など、興味を持って参加できる。
- ・指導者が答えを提示するのではなく、参加者に「なぜ？」という疑問を喚起させ、参加者自らが主体的に考えて取り組む力が身に付く。
- ・テキストには、たくさんのアクティビティがあり、さまざまな学習活動に活用できます。
- ・プログラムごとに目標・準備・進め方が整理されているので、段階的に学ぶことができます。
- ・グループでの作業やプレゼンテーションの機会が多く、参加者の合意形成、コミュニケーション能力や発表能力が向上する。
- ・アメリカの教材が元になっているため、英単語や英語表現なども多用。英語の勉強としても役立つようなテキスト内容。
- ・プログラムを指導する際には、幼児・中学生・高校生というように年代に合わせたプログラム内容、指導方法も学ぶことができる。

学校で・・・

プロジェクト・ワイルドは、その地域に即したアクティビティをアレンジできる特徴があります。

例えば、海に近い学校では、海の生き物にアレンジして実施することができます。そうすることで、子どもたちは身近な生きものとして興味を示し、イメージすることができます。プロジェクト・ワイルドは体験しながら学ぶことができるため、現在、全国各地の幼稚園、小学校、中学校、高校や大学など様々な教育機関の現場において、授業の中で取り入れている学校が増えてきています。



地域で・・・

公園では、フィールドを活かした環境教育が増えてきています。

プロジェクト・ワイルドは、遠足や課外授業の受け入れ、自然観察会等のイベントで活用されています。また、地域におけるボランティア団体、NPO法人等においても、小・中・高校の出前授業や市民を対象とした体験活動等で活用されています。

企業で・・・

近年では企業の職員研修等でも活用されています。

プロジェクト・ワイルドの指導者講習会には、環境教育について学ぶだけでなく合意形成を図るトレーニングを行ったり、グループワークや発表を行うなど様々な要素が盛り込まれています。また、環境に対する自分の意見を発表する能力を育てるなど、人事育成の面においても優れています。

